

**ハザードマップの使い方**  
 How to use Hazard Map  
 Como usar o mapa das áreas de risco  
 Forma de utilizar el mapa de riesgo

ハザードマップは、水害や土砂災害に備えて、避難行動や情報の入手先等を示したものです。いざという時のために、家族や近所等で平時より話し合い、災害に備えておきましょう。

The Hazard Map shows evacuation behavior and information sources in case of flood and sediment disaster. Prepare for a disaster by discussing urgent actions with your family and neighbors in peacetime.

O mapa de áreas de risco de inundação e deslizamento de terra indica o procedimento para a evacuação fornecendo informações. Converse com familiares e vizinhos sobre prevenção e deixar material preparado para caso de emergência.

El mapa de las zonas de riesgo, muestran acciones de evacuación y fuentes de información por Inundaciones y Deslizamiento de tierra. Para caso de emergencia, converse con su familia y vecinos más de lo habitual y prepárese para los desastres.

**ステップ① 自宅の位置や指定避難所等を確認しましょう。**  
 国道・県道、学校・公共施設等の位置を参考に、自宅や指定避難所等を確認しましょう。

**ステップ② 家族や近所等で大雨の時に危険な場所や安全な避難場所について、話し合みましょう。**  
 浸水が想定されている区域や土砂災害警戒区域、近所にある水路・橋など、大雨の時に危険な場所や安全な避難場所について、自治会や近所等で話し合みましょう。

**ステップ③ 危険な場所を避けて、避難経路を設定し、実際に歩いてみて、安全を確認しましょう。**  
 大雨のときに危険な場所を避けて、避難経路を設定しましょう。設定した避難経路を実際に歩いてみて、危険な場所が見つかった場合には、見直しましょう。

**ステップ④ 災害時の対応を話し合みましょう。**  
 「自宅周辺の危険箇所」「避難先」「避難経路」について、家族や近所等でこれらの情報を共有し、いざというときに協力し合うことが重要です。

**ステップ⑤ 非常持ち出し品を準備しましょう。**  
 日ごろからの備えに記載している「非常持ち出し品(例)」を参考にして、避難するときに持ち出すものを準備しましょう。

**ステップ⑥ マイタイムラインを作りましょう**  
 台風や大雨等の災害に対し、自分自身で作る「行動計画」のことで。いざという時に円滑な避難行動ができるようマイ・タイムラインを作成しましょう。作成方法は愛川町ホームページで確認してください。

**災害情報・避難情報について**

**大雨時の行動タイムライン**  
 災害が発生するおそれが高まった時に、5段階の警戒レベルが発表されます。愛川町から警戒レベルに応じた避難情報を発令します。みなさんは、警戒レベルに応じた行動をしてください。

**段階的に発表される気象庁等の情報・避難情報と住民のとるべき行動**

警戒レベル	時間経過	気象庁等の情報	町が発令する避難情報	住民のみなさんがとるべき行動
1	大雨の数日～約1日前	早期注意情報(警戒級の可能性)		災害への心構えを高める
2	大雨の半日～数時間前	大雨注意報 洪水注意報		自らの避難行動を確認
3	大雨の数時間～2時間程度前	大雨警報 洪水警報	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難
4	大雨の数分～数十分前	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	避難指示	危険な場所から全員避難
5	数十年に一度の大雨	大雨特別警報 氾濫発生情報 緊急安全確保		命の危険 直ちに安全確保!

**河川に関する情報を確認しましょう**  
 相模川、中津川では、県と気象庁から共同で、洪水予報が発表されます。気象庁のキキルや川の防災情報、県の水位情報で確認できます。

洪水予報で発表される情報	発表基準	住民のみなさんのとるべき行動・水位の状況	相模川(上佐知)	中津川(平山橋)	中津川(才戸橋)
氾濫危険情報	氾濫危険水位(警戒レベル4相当)	河川が氾濫するおそれのある水位 安全に避難するために避難を開始	7.3	3.1	2.6
氾濫警戒情報	避難判断水位(警戒レベル3相当)	町からの避難情報が発表される目安となる水位 避難の準備	6.9	2.9	2.3
氾濫注意情報	氾濫注意水位(警戒レベル2相当)	河川の氾濫の発生を注意する水位	6.5	2.3	2.2

**情報収集について**

**大雨や洪水に関する注意報・警報**  
 次のような場合に、気象庁から「注意報」「警報」が発表されます。さらに、警報の発表基準をはるかに超える大雨等が予想され、重大な災害が発生するおそれが著しく高まっている場合、「特別警報」が発表され、最大限の警戒を呼びかけます。

大雨・洪水注意報	大雨・洪水警報	大雨特別警報
災害が発生するおそれがある	重大な災害が発生するおそれがある	警報よりもはるかに高い危険度
大雨により、浸水害や土砂災害等が発生するおそれがあると予想したときに発表	大雨により、重大な浸水害や重大な土砂災害等が発生するおそれがあると予想したときに発表	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、もしくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想したときに発表

**その他の気象情報**  
 気象庁は、災害防止のため、注意を呼びかけたり、警報・注意報の内容を補完するために気象情報を発表します。大きな災害の発生に関係する気象情報には、以下のようなものがあります。

**土砂災害警戒情報** 大雨による土砂災害発生危険度が高まったときに、町長が避難指示等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるように発表される情報です。

**記録的短時間大雨情報** 大雨警報等が発表されている状況で、数年に一度しか起こらないような記録的な短時間大雨が観測されたときなどに発表される情報です。

**早期の立退き避難が必要な区域**  
 家屋倒壊等氾濫想定区域、浸水深が3.0m以上になる区域、土砂災害警戒区域内は立退き避難が基本です。これらの区域では**早期の立退き避難**が必要です。町からの避難情報に注意し、危険を感じたらすぐに避難してください。

**早期立退き避難が必要な区域**

- これらの区域では立退き避難をしてください (家屋倒壊等氾濫想定区域内)
- 浸水深3.0m以上になる区域 (※建物1階建ての場合は、浸水深0.5m以上になる区域)
- 土砂災害警戒区域内

**と 氾濫 想定 区域**  
 堤防が決壊した場合に、家屋の倒壊・流失をもたらすような激しい流れが発生するおそれのある区域を「家屋倒壊等氾濫想定区域」として設定しています。家屋倒壊等氾濫想定区域には、氾濫流と河岸侵食があります。

- 氾濫流** 氾濫した洪水の流れの勢いで、木造家屋等が倒壊するおそれのある区域
- 河岸侵食** 河川の流れにより河岸が削られて、堤防が決壊し、家屋が倒壊するおそれのある区域

**避難の心得について**

**避難の心得**  
 いざという時のために、日頃から避難に必要な物を整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また災害の危険性が想定された場合には、正確な情報を入力して、早めの避難を心がけましょう。

- 状況により、すばやく避難 (避難情報等が発令されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。)
- 家族には連絡メモを残そう (外出中の家族には「どこへ避難する」といったようなメモを残しておきましょう。)
- わが家の防災メモを持とう (住所・氏名・連絡先等を記載した防災メモを用意し、身につけて避難しましょう。)
- 集団で助け合おう (単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。)
- 車での避難は控えて (車は、約30cmの浸水で走行困難になります。車での避難は控えます。)
- 安全なルートで避難 (川べり、地下歩道等は避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。)
- 非常持ち出し品は最小限に (非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。)
- 指定避難所等では指示に従いましょう (指定避難所等に着いたら、係の人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。)

**立退き避難(水平避難)と垂直避難**

災害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水している等、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければなりません。そのような場合は、高齢者等避難や避難指示が発令されていても、かけや浸水区域からはなれる(水平避難)だけでなく、近隣の高い建物や自宅の2階といった高い場所へ移動(垂直避難)するという判断も必要です。また、土砂災害の危険性がある地区では、屋内でも山と反対側に避難することも必要です。

**土砂災害の危険がある場合 かけと反対側の2階以上へ避難します!!**  
 何よりも命を守る行動を!!

また、避難場所への避難だけではなく、早期に安全な場所の親戚知人宅やホテルや旅館への立退き避難も考えましょう。

- 安全な場所の親戚や知人宅への立退き避難 (普段から、避難について、相談しておきましょう。親戚や知人宅が安全かどうかハザードマップで確認しましょう。)
- 安全な場所のホテルや旅館への立退き避難 (事前に宿泊可能な施設を確認しておきましょう。その施設が安全かどうかハザードマップで確認しましょう。)

**浸水や洪水について**

**浸水や洪水について**  
 大雨が降ると河川等から水があふれます。浸水や洪水の発生メカニズムを知っておきましょう。

**内水による浸水(内水氾濫)**  
 雨の量が下水道や道路側溝等の排水施設の能力を超えたり、河川の水位が高くなったり、雨水を排水できずに、浸水することがあります。

**洪水(外水氾濫)**  
 大雨によって河川の水位が高くなると堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊することがあります。

**内水氾濫の発生** 非常に激しい雨が降ると

**洪水(外水氾濫)の発生** 雨水が下水道や道路側溝等で排水できずに浸水してしまいます。さらに雨が降り続けると、河川の水位が上昇し、堤防が決壊すると、多大な被害が発生します。

**ダム情報入手先**

●宮ヶ瀬ダム、城山ダム [https://kanagawa-dam.jp/web\\_data/genkyo\\_kokai/mizugame\\_h.html](https://kanagawa-dam.jp/web_data/genkyo_kokai/mizugame_h.html)

中津川の宮ヶ瀬ダムや相模川の城山ダムは、大雨時等に貯水した水位が増加すると洪水調整等のため、ゲート放流が行われます。急激に水位が上昇した場合は、緊急放流が行われることもあります。放流により下流で氾濫のおそれもあります。放流の放送やサイレンが鳴った場合は、すみやかに河川から離れて安全な場所に避難してください。

**雨の強さや降り方と災害の危険性**

下の表は、雨の強さと降り方の目安、それに伴う災害の危険性を示したものです。普段から雨の様子に注意し、警報や避難指示が出る前でも、危険と判断すれば自主的に避難することが大切です。

	やや強い雨 10～20mm	強い雨 20～30mm	激しい雨 30～50mm	非常に激しい雨 50～80mm	猛烈な雨 80mm～
1時間雨量と予報用語					
人の受けのイメージ	ザーザーと降る	どしや降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある恐怖を感じる
災害の危険性	この程度の雨でも長く続くには注意が必要	朝満や水路、小さな川があふれ、道路冠水のおそれがある	山崩れがけ崩れが起きやすくなり、危険な場所では避難の準備が必要	土砂災害が起ころりや多くの災害が発生する	雨による大規模な災害の発生のおそれが高く、厳重な警戒が必要

※表に示した雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質等の違いによって被害の様子は異なることがあります。この表では、ある雨量が観測された際に通常発生する現象や被害を記述していますので、これより大きい被害が発生したり、逆に小さな被害にとどまる場合もあります。

**土砂災害について**

**土砂災害について ー土砂災害の種類と前兆現象ー**  
 大雨や台風、地震によって、地盤がゆるみ、がけ崩れや土石流、地すべりといった土砂災害が引き起こされる可能性があります。下記のような前兆現象を確認したら速やかに避難してください。

- がけ崩れ** 地中にしみ込んだ水分により、急な斜面が突然崩れ落ちる現象です。突然起きるため、人家の付近で起きると逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高くなります。
- 土石流** 大雨や集中豪雨などによって、山や川の石と砂が水と一体となって一気に下流へ押し流される現象です。崩壊土砂により河川をせき止め一気に流れる場合があります。
- 地すべり** 大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、地面が広い範囲にわたって動きだすものをいいます。

**土砂災害の前兆(前兆現象)**

五感	移動主体	がけ崩れ	土石流	地すべり
視	山・斜面・がけ	●がけに割れ目が見える。 ●がけから小石がパツパツと落ちる。 ●斜面がふくらみだす。	●溪流付近の斜面が崩れだす。 ●落石が頻りに落ちてくる。	●地面にひび割れができる。 ●地面の一部が落ち込んだり盛り上がりやすくなる。
水	水	●表面流が生じる。 ●がけから水が噴き出す。 ●湧き水が濁ります。	●川の水位が異常に濁る。 ●流れが滞っているのに川の水位が下がる。 ●土砂の流出。	●沢や井戸の水が濁る。 ●斜面から水が噴き出す。 ●池や沼の水かさが増える。
樹木	樹木	●樹木が傾く。	●濁水に流木が漂いやすくなります。	●樹木が傾く。
聴覚(音)	その他	●樹木の根が切れる音がする。 ●樹木の揺れる音がする。 ●地鳴りがする。	●崖内での火花。 ●溪流の轟音。	●家の構間に亀裂が入る。 ●境壁や電柱が傾く。
嗅覚(におい)			●腐った土のにおいがする。	

※下記は一般的な前兆現象です。すべての場所において必ず起きるとは限りません。

**土砂災害警戒区域とは?**

**土砂災害警戒区域** 土砂災害が発生する恐れがあり、発生したら住民に危害が生じる恐れがある区域

**土砂災害特別警戒区域** 土砂災害警戒区域のうち、土砂災害が発生した場合に建築物に損傷が生じ、住民に著しい危害が生じる恐れがある区域

**規制** ●建築物の構造 ●特定開発行為に対する許可制 ●建築物の移転 ●等

●建築物の構造 想定される被害等に対し、建築物が安全であるかどうか建築確認がされます。

●特定開発行為に対する許可制 住宅地の開発や、老人ホーム、病院等住宅地外に建設する建築物の開発行為には、許可が必要です。

●建築物の移転 著しい損傷が生ずる恐れがある建築物の所有者に対し、移転の報告を要することができます。なお、移転される場合は、賠償や資金の確保などの支障が認められる場合があります。

※土砂災害警戒区域等は、住宅等がある地区を指定します。このため、住宅が無い地域では、危険な区域とされていないところでも、土砂災害の可能性があります。道路の通行や避難の際には、「崖下」「谷下」等に注意しましょう。

**情報伝達の流れ**



**情報の入手先**  
 防災情報は、様々な方法で入手できます。自ら積極的に情報を入手しましょう。  
 ※土砂災害警戒区域の詳細(公示図)は、神奈川県土砂災害警戒情報システムから、洪水浸水想定区域の拡大図は、国土交通省重なるハザードマップから確認できます。

**愛川町からの防災情報**

- 防災行政無線 (音声自動応答サービス) 防災行政無線の放送と同時内容が電話で確認できます。☎0120-530-310
- あいかわ防災情報メール(エリアメール) 愛川町ではメールにより、防災情報などをお知らせします。下記リンクの「愛川町メール配信サービス」から登録できます。http://www.ikkr.jp/aikawa/
- 愛川町ホームページ https://www.town.aikawa.kanagawa.jp/
- 愛川町公式ツイッター https://twitter.com/AikawaTown
- 愛川町LINE公式アカウント アカウント名: 愛川町 LINE ID : @aikawatown
- 緊急速報「エリアメール」・緊急速報メール 避難に関する情報等、生命に関わる緊急性の高い情報等、一定のエリアに存在する携帯電話・スマートフォンに一斉配信します。
- エフエムさがみ(FM HOT83.9)・J.COM ラジオやケーブルテレビも緊急放送に切り替わり、情報が放送されます。
- tvk(テレビ神奈川) データ放送 ①テレビで地デジ3ch(テレビ神奈川)を通過 ②リモコンのd(データ)ボタンを押す

**その他機関の防災情報**

- 国土交通省 川の防災情報 https://www.river.go.jp/index
- 神奈川県災害情報ポータル https://www.bousai.pref.kanagawa.jp/
- 神奈川県雨量水位情報 https://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/web\_general/suibou\_joho/ 河川カメラ・雨量・水位情報を確認できます。
- 神奈川県土砂災害警戒情報システム https://dosyasaijg.pref.kanagawa.jp/php/map.php?mapmode=kuki
- 気象庁キキル(愛川町) https://www.jma.go.jp/bosai/#area\_type=class20s&area\_code=1440100&pattern=rain\_level
- 国土交通省重なるハザードマップ https://dsaportal.gsi.go.jp/index.html

**伝言ダイヤル・日ごろからの備え**

**災害用伝言ダイヤル**  
 ●災害用伝言ダイヤル「171」(NTT東日本) 安否確認や避難している場所を音声で伝言することができます。

**利用方法** 171にダイヤル → 録音の場合 1 → 再生の場合 2

**災害用伝言板(携帯電話会社)** 携帯電話から専用の伝言板サイトで、伝言を残すことができます。

NTTドコモ http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi KDDI: au http://dengon.ezweb.ne.jp/ ソフトバンク http://dengon.softbank.ne.jp/

**非常持ち出し品(例)**

**ローリングストック**  
 備蓄食料・飲料水等の保存期間が切れる前に消費し、その分だけ新たに補充して、常に一定量のストックがある状態を保つことを「ローリングストック」といいます。定期的に古い備蓄品から消費することで無駄を出さず、また、いざというときに期限切れで使えなくなることを防ぎます。

**集合場所**

災害別	集合場所	避難先(第一候補)	避難先(第二候補)

**家族の連絡先**

氏名	電話番号	メールアドレス

※被災地外の親戚・知人も記入しておきましょう。